

## 免疫細胞化学染色におけるコントロール標本の作製に適した検体保存条件の検討

### 1. 研究の対象

2018 年 1 月から 2019 年 12 月までに、当院で細胞診検査を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

細胞診検査では、診断補助のために免疫細胞化学染色を行うことがあります。免疫細胞化学染色が適切におこなわれているかを評価するためには、コントロール標本と一緒に染色する必要があります。コントロール標本を管理するために、免疫細胞化学染色に適したコントロールの保存条件を検討します。

方法：細胞診検査の残余検体に対して、検体の保存条件を設定し免疫細胞化学染色を行います。

研究期間：研究実施許可後～2023 年 2 月まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、細胞診・病理検体番号、細胞診報告書報告内容 等

試料：細胞診検査の残余検体

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 本間圭一郎

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181